

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
2021年度(令和3年度)第6回理事会議事録

1. 開催日時 2022年3月28日(月)9:00-13:00

2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20名  
出席理事 20名(定足数11名 会議成立)

4. 議長 理事 田近 英一

5. 出席役員

理事 田近 英一  
理事 川幡 穂高  
理事 ウォリス サイモン  
理事 小口 千明  
理事 高橋 幸弘  
理事 道林 克禎  
理事 日比谷 紀之  
理事 河宮 未知生  
理事 浜野 洋三  
理事 阿部 なつ江  
理事 沖 大幹  
理事 奥村 晃史  
理事 掛川 武  
理事 木村 学  
理事 橘 省吾  
理事 中村 昭子  
理事 成瀬 元  
理事 西 弘嗣  
理事 村山 泰啓  
理事 吉田 尚弘  
監事 加藤 照之  
監事 鈴木 善和  
監事 春山 成子

## 6. 出席オブザーバー

大気水圏科学セクションバイスプレジデント	東塚 知己
地球人間圏科学セクションプレジデント	鈴木 康弘
地球人間圏科学セクションバイスプレジデント	小口 高
固体地球科学セクションプレジデント	田中 聡
地球生命科学セクションプレジデント	遠藤 一佳
大会運営委員会委員長	和田 浩二
プログラム委員長	石渡 正樹
ダイバーシティ推進委員会委員長	坂野井 和代
情報システム委員会委員長	興野 純
学協会長会議議長	林田 佐智子
事務局長	末廣 潔

午前 9 時 00 分、定数に達したので田近英一会長が開会を宣言した。インターネット会議システム Zoom を利用し、審議において参加者全員が互いに適時的確な意見表明ができることを確認した。

## 7. 審議事項

### 第 1 号議案 新入会員承認の件

・定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議し、これを承認した。

### 第 2 号議案 2021 年度事業計画書および収支予算書承認の件

・2021 年度事業計画書および収支予算書を審議した。事業計画書については 4 点の追加の文言の指摘があり、それを記載のうえで承認した。収支予算書を案の通り承認した。

### 第 3 号議案 日本地球惑星科学学術賞(三宅賞)受賞者の件

・審査委員会からの推薦に基づき、受賞候補者を審議した。審議の結果、推薦の通りに受賞者を承認した。

### 第 4 号議案 日本学術会議公開シンポジウム「チバニアン、学術的意義とその社会的重要性」共催の件

・日本学術会議公開シンポジウム「チバニアン、学術的意義とその社会的重要性」からの申請書および開催計画資料に基づき、審議した。審議の結果、共催を承認した。

### 第 5 号議案 ジャーナル企画経営委員会規則改訂

・ジャーナル企画経営委員会規則の改訂を審議した。これを承認した。

#### 第 6 号議案 ジャーナル編集委員会規則改訂

・ジャーナル編集委員会規則の改訂を審議した。これを承認した。

#### 第 7 号議案 職員雇用契約更新の件

・65 歳以上の事務局職員 3 名について契約更新を審議し、他 5 名とも契約を更新した。  
・現在緊急でテレワーク体制となっているが、今後在宅勤務に関する規則を作成し、正式な在宅勤務体制を整備する。これに応じて、事務局のために賃借している部屋の整理も検討している。  
また、理事等の年齢上限を決めていないが、これについても検討してゆきたい。

### 3. 報告事項

#### 1. 田近 英一代表理事職務報告

##### ○ウクライナ関連声明について

・3 月 4 日より 7 日までメール審議を開催し、全員からの賛同を得たため声明を発出した。  
・林田学協会長会議議長から、本件については学協会にも報告したほうが良いとの指摘があり、メールで報告することとなった。  
・共同研究など研究の現場で影響が出ているという指摘があり、調査を検討することとなった。  
・海外の学会においてはこれに関連して様々な対応がなされており、JpGU としても対応を検討する必要があるとの指摘があった。

##### ○役員候補者推薦委員会の活動報告

・役員候補者推薦委員会を開催し、役員(理事および監事)候補を作成、公開した。理事に女性が 6 名含まれていることは特筆すべき点である。定時社員総会で審議を行う。

##### ○日本学術会議科学者委員会学協会連携分科会での報告について

・日本学術会議の第 6 回科学者委員会学協会連携分科会が 3 月 16 日に開催された。学協会の連携の事例の紹介があり、第三部(理工系)を代表して JpGU のこれまでの歴史や活動等について紹介した。

#### 2. 川幡 穂高理事(ジャーナル担当)職務報告

・川幡理事よりジャーナルの活動報告があった。  
・PEPS の投稿・編集・出版状況について、報告があった。  
・PEPS 編集長の体制は 2 年前より「集団指導体制」に戦略的に移行することを編集長会議で合意した。これは、新規則にあるように、原則として 2 年毎に総編集長が交代していくことに対応する。大谷栄治総編集長は 2020 年 9 月に就任したので、2022 年 9 月から多田隆治総編集長に交替する予定である。なお、大谷栄治総編集長の時代には、PEPS の IF が安定的に 3.5 以上をキープできようだった。次期編集長の時代には、さらなる向上を目指すべく協力して、皆で PEPS を盛り上

げていく予定である。

### 3. ウォリス理事(グローバル戦略担当)職務報告

- ・グローバル戦略委員会の開催報告があった。

#### ○IGC 巡検について

- ・3月17日 77th IUGS executive Committee Meeting, Paris, France にて、西理事(日本学術会議地球惑星科学委員会 IUGS 分科会委員長)より韓国で開催予定の万国地質学会議(International Geological Congress)に関するこれまでの経緯と状況を報告した。日本が懸念を表明したことに対して韓国以外の IUGS の出席者からは意見はなかった。経緯の概要と IUGS 会議での様子を西理事が本理事会で報告し、了承された。なお、IUGS の会議の議事録中、本件に関係する部分は、本議事録の資料として添付される予定である。

- ・ウォリス副会長より、周辺の情報について補足する発言があった。

- ・3月22日、韓国側との話し合いを行った。双方が納得する結論は得られなかった。

- ・双方が納得できる案がないか再検討することとなった。

#### ○AGU のタスクフォース(3. Outreach)の活動について

- ・Earth Day に関する声明を発出することになり、JpGU として賛同の可否を3月14日開催の拡大業務執行理事会で確認した。

#### ○AGU のタスクフォース(4. Early career)の活動について

- ・Early Career Scientist (ECS)が活躍できる場を用意したという議論があった。

#### ○ 2022 Taiwan Geosciences Assembly について

- ・オープニングイベントにおける基調講演の依頼があり、高橋副会長が出席することとなった。

#### ○EGU General Assembly 2022 について

- ・展示はオンサイトのみであり、連合大会と重複しているため、JpGU の現地出展はなくなったが、EGU から現地に映像を流すなどの情報発信のできるブースを提供するという提案があった。

- ・JpGU-EGU のジョイントセッションを互いの参加者向けにネット配信することを検討している。既存の MOU への付記を準備している。

#### ○AOGS2022

- ・JpGU ブースをオンライン出展する予定である。

#### ○JpGU2022 について

- ・現地会場に Friends エリアを設置する予定である。

### 4. 小口 千明理事(ダイバーシティ担当)職務報告

- ・ダイバーシティ推進委員会の活動報告があった。

- ・保育サービスの設置を検討している。2019 年大会で利用したサービス業者に見積もりを依頼したところ、大幅値上げとなっている。予算に追加を計上しているが、現地での保育サービス設置の必要性の検討も必要である。そのため、会員に事前アンケート調査を行ってニーズを把握する。

- ・男女共同参画学協会連絡会の若手支援事業に関連した、JpGU 若手支援 WG のキックオフミーティングを行った。
- ・NPO 法人「女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト」に団体賛助会員として登録した。
- ・フィールドワーク時のハラスメント調査に協力し、メールニュースを配信した。
- ・賛助会員の株式会社テックオーシャンと共催で、1月27日に就活必勝講座を開催した。
- ・ダイバーシティ委員会のウェブサイトを立ち上げた。

#### 5. 高橋 幸弘理事(SDGs 担当)職務報告

- ・SDGsタスクフォースの会議を開催し、声明もしくは宣言の発出を検討する。
- ・連合大会時にも、広報活動を計画している。

#### 6. 道林 克禎理事(大会展示担当)職務報告

- ・展示について報告があった。展示場ホールに準備した一般展示 30 ブースが完売した。書籍・大学研究機関等向けはまだ余裕がある。
- ・募集開始前に展示説明会を行ったところ好評であった。
- ・出展者ポップアップのハイブリッド版、クイズラリーの開催等を企画している。

#### 7. 日比谷 紀之理事(総務担当)職務報告

- ・後援したイベントについて報告があった。
- ・団体会員である地理教育研究会から退会届が提出されたことについて報告があった。
- ・事業報告を作成中であるため、追加等がある場合は早めに総務委員会まで申告してほしい。

#### 8. 河宮 未知生理事(財務担当)職務報告

- ・財務委員会の活動報告があった。
- ・決算見通しについて報告があった。
- ・寄附の受け入れ状況について報告があった。

#### 9. 浜野 洋三理事(大会運営担当)職務報告

- ・和田大会運営委員会委員長より大会準備報告があった。
- ・3月24日ハイブリッド開催として大会参加登録を開始した。
- ・投稿総数は3679件である。口頭は2072件、ポスターは1607件。
- ・発表プログラムを公開した。現在、講演題目と発表者名が公開されている。5月13日に予稿PDFを公開する。
- ・セッション数は224となった。
- ・国別採択投稿数・投稿者数について報告があった。
- ・EGUのみとのジョイントセッション5件に限り、EGUの参加者限定サイトにおいてZoom URLを公

開してもらう。同様にEGU側のジョイントセッションの Zoom URLを、JpGUの参加者限定サイトにおいて公開する予定である。

- ・現地ポスター発表の予定数を考慮すると、展示場は半面の利用で収容できる見込みである。ただし高校生発表がある初日は全面利用を検討している。
- ・ハイブリッド開催における発表方法について、機材の配置なども含めて座長が現地参加の場合、座長がオンライン参加の場合などのパターン別に報告があった。
- ・Confit 掲載発表資料の種類と掲載方法について確認した。
- ・参加登録方法について報告があった。発表者は 4 月 12 日、それ以外の参加者 5 月 12 日までに参加登録をすることが望ましい。以降は、参加登録を行ってもConfitにログインできるのは翌日 9:00 以降になる。なお現地での参加登録は行わない。
- ・現地の受付、発表会場などのレイアウトについて報告があった。バーコードを用いて、各会場の入場管理を行う予定である。
- ・学生発表賞、学生旅費補助、学生アルバイトの準備状況について報告があった。現地会場の会場係アルバイトを募集予定であり、呼びかけに協力してほしい。
- ・学協会の集会利用は近日中に募集開始予定である。会場システムをすべてそのまま利用できるが、Zoom は利用者の Zoom アカウントを使用して各自で設定してもらう。現地会場の利用は大会参加者に限る。
- ・各種イベントの準備状況について報告があった。

#### 10. 情報システム委員会活動報告(村山担当理事)

- ・情報システム委員会の活動報告があった。
- ・ORCID 組織への加盟状況について報告があった。ORCID コンソーシアムにプレミアム会員として加入している。JpGUのクレデンシャルで、役員や受賞者などを国際DBに登録できる。これを利用するために Research Organization Registry への登録が必須だったため、登録した。
- ・データの格納場所に関する検討状況について報告があった。JpGU 予稿集を J-Stage ジャーナルに登録した場合、予稿の研究データを J-Stage Data に保存できる。

#### 11. 教育検討委員会活動報告(阿部担当理事)

- ・教育検討委員会の活動報告があった。
- ・教育課程小委員会副委員長が瀧上委員から飯田和也委員、岩田真委員に交代した。  
教育国際対応小委員会活動報告があった。高校生交流会の開催、アースサイエンスウィーク・ジャパン(ESWJ)の活動について報告した。
- ・防災教育小委員会の活動報告があった。役割と分担を決定した。また、学協会に対し、防災教育のための窓口および担当者の有無を尋ねるアンケート調査を行った。
- ・教員免許状更新講習事業について報告があった。令和 4 年 7 月 1 日付で制度を廃止することが国会で閣議決定された。以降は講習の受講が不必要になる。それまでに有効期限を迎える免許

を持つ教員向けには、これまでと同レベルの講習を開催する。それ以降は、教員研修としての講習会の開催を準備している。

#### 12. 広報普及委員会活動報告(橘担当理事)

- ・広報普及委員会の活動報告があった。
- ・JGL Vol.18-1 をオンライン発行した。
- ・Facebook の活動に関し、各セクションからの協力を得た旨報告があり、謝意が述べられた。
- ・ハイライトセッションの選定に関しても同様に各セクションからの協力を謝意が述べられた。これまではコンビーナや個人レベルでのハイライト後援の自薦・他薦を募集していたが、より適切な選定を行うため、今回のような形式に変更した。

#### 13. 環境災害対応委員会報告(奥村理事)

特に報告事項はないため省略した。

#### 14. 顕彰委員会活動報告(中村担当理事)

- ・顕彰委員会の活動報告があった。
- ・学生旅費補助審査報告があった。
- ・贈賞式の準備状況について報告があった。日曜日のノーベル賞記念セッションの後に開催する予定である。前回好評であった受賞者コメントを、今回もあらかじめ提出していただく予定である。
- ・各賞受賞対象者の倫理規定遵守確認について、今回は応募時に説明していなかったが、三宅賞受賞者、フェロー顕彰者の推薦者、サポートレター執筆者に、対象者の倫理規定遵守についての確認を行い、ほぼすべての方から確認書を得た。次回からは、応募時点で確認書を添付してもらうこととし、サポートレター執筆者の氏名も web に掲載することとする。また今後は候補者本人にも、確認書を得る。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 1 時 00 分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

2022 年 3 月 28 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 6 回理事会

出席理事      田近      英一      印

出席理事      川幡      穂高      印

出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	沖	大幹	印
出席理事	奥村	晃史	印
出席理事	掛川	武	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	橘	省吾	印
出席理事	中村	昭子	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席理事	吉田	尚弘	印



出席監事 加藤 照之 印

出席監事 鈴木 善和 印

出席監事 春山 成子 印